

一般社団法人 福島県鍼灸師会 令和3年度 事業計画（案）

<令和3年4月1日から令和4年3月31日>

月 日	事 業 内 容
令和3年	
4月25日	春季学術講習会（会場および Zoom のハイブリッド開催） 演題：ICCO 式美顔はりについて 講師：公益社団法人 群馬県鍼灸師会 会長 田中一行先生（90分×2講座）
4月26日	『福鍼会だより』第145号発行
4月29日	郡山シティーマラソン大会（中止） ※ボランティア施術
7月25日	夏季学術講習会（会場および Zoom のハイブリッド開催） 講演第1部 演題：「診断は問診が8割「攻める問診」」 講師：福島県立医科大学会津医療センター総合内科学講座 教授 山中克郎先生 講演第2部 演題：「会津医療センターでの鍼灸治療の方法 -EBMの展開-」 講師：福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座 准教授 鈴木雅雄先生 ほか会員発表
8月31日	福島県保健衛生学会（福島県公衆衛生協会・福島県保健福祉部主催） 演題：「令和元年台風第19号による水害避難者等に対する鍼灸マッサージ治療の報告」 演者：会長 三瓶真一
9月26日	青年委員会・鍼灸女子員会合同研修会（会場および Zoom のハイブリッド開催） 講演第1部 演題：「健康保険（療養費）取扱超初心者講習会」 講師：公益社団法人日本鍼灸師会 健保委員会 委員長 小林潤一郎先生 講演第2部 演題：「みんなで作ってみよう経営チェック；自分の鍼灸院は何点なの？」 講師：福島県鍼灸師会 監事 一寸法師ハリ治療院 院長 中沢良平先生
9月26日	第14回まるごとけんこうフェア（郡山市保健所主催） 演題：「不妊症と生理痛に対するツボ講座」 講師：理事・学術部長 益子勝良
12月26日	冬季学術講習会（会場および Zoom のハイブリッド開催） 講演第1部 演題 「他嚢胞性卵巣について」 講師：福島県立医科大学産科婦人科学講座 講師 山口明子先生 講演第2部 演題 「他嚢胞性卵巣を含む排卵障害の不妊症患者さんへの対応」 講師：会長 三瓶真一
令和4年	
1月下旬	『広報ふくしんかい』第94号発行予定
2月28日	いわきサンシャインマラソン



福鍼会だより

2021年
4月26日

発行 / 一般社団法人福島県鍼灸師会
(執筆者：総務部長 小沼慎介)

No. 145

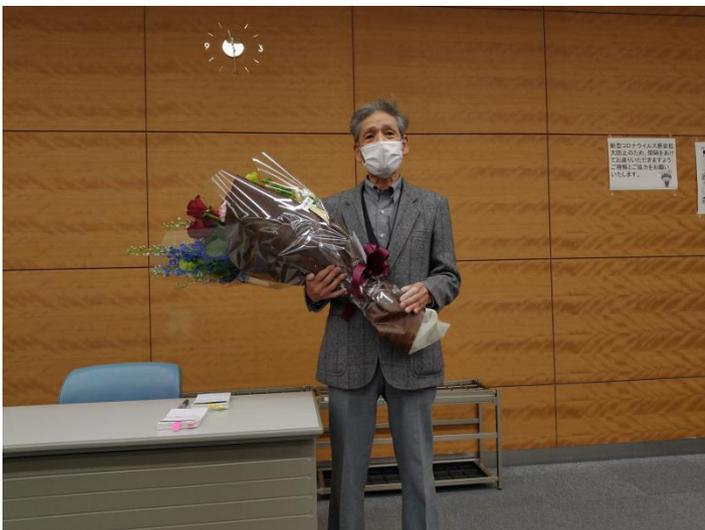
令和3年度定時会員総会が開催されました！

4月25日(日)、郡山市駅前二丁目のビッグアイ・市民交流プラザ7階 大会議室2で令和3年度定時会員総会が開催されました。このご時世にも関わらず、会場には20名を超える会員が出席し、Zoomによるリモート参加も数名ありました(出欠に関しては7割の会員が返信され、会員としての務めを果たされました。来年度は返信率が100%になることを期待しています)。報告と審議がスムーズに進行し、無事に福島県鍼灸師会と福島県鍼灸師連盟の定時会員総会を終えられたことに安堵しています。

昨年度は福鍼会だけでなく、全国ほとんどのイベントが中止・延期を余儀なくされました。残念ながらコロナ騒動は今年度も続きそうですが、昨年1年間に多くの試みが行われ、今年はそれを実行に移す年になりそうです。本会で言えば、講習会の“ハイブリッド開催”がそれに当たります。会場での参加とZoomを使ったリモート参加です。今後はおそらくこのような講習スタイルがスタンダード化されていくことでしょう。

会場参加の場合は、講師の熱や会場の雰囲気を感じられるメリットがあります。リモート参加の場合は、移動時間や交通費の負担がゼロになり、自宅にしながらリラックスして講習を受けられるメリットがあります。福鍼会は時代のニーズに合わせて柔軟に対応できる会です。それぞれの環境に応じてご参加いただけます。こんな時代だからこそ、今後も会員の皆さんが参加しやすい講習会のスタイルを模索していきます。

安齋昌弘先生、赤門鍼灸柔整専門学校の学校長へ！



令和3年4月1日より、本会の相談役である、安齋昌弘先生が赤門鍼灸柔整専門学校の学校長に就任されました。定時会員総会が終わったあと、サプライズで花束を贈呈させていただきました。安齋先生は驚かれながらも大変嬉しそうでした。

先生は鍼灸師として臨床に携わりながら、後進の育成のために教鞭を執られていらっしゃいます。学校長という重責もあると思いますが、教員生活45年の経験を生かして、未来ある治療家の卵のためにご活躍ください！

令和3年度春季学術講習会が開催されました！



定時会員総会が終わり、午後からは同会場にて令和3年度春季学術講習会が開催されました。『ICCO式美顔はりについて』と題し、公益社団法人群馬県鍼灸師会会長 田中一行先生にご講演いただきました。田中先生は群馬県渋川市の龍華鍼灸院の他、肌リジェという店舗を札幌、東京、福岡などで5店舗経営され、医学的知識に基づいた「安全」で「効果的」な美容鍼の普及を目指しておられます。

最初の座学では「鍼灸の受療率の低さ」に触れ、受療率の低さは鍼灸師側に問題があるとバツサリ。『業団の加入率が非常に低く「鍼を打つのは好きだけど業界には興味がない人が多い」』『鍼灸師の想いがあっても、それが国民に届かないと意味がない』『鍼をすることで相手にどれだけのメリット（鍼灸師はあなたのためにこういうことができます）があるかを理解してもらう必要がある』と、熱く論じられました。鍼灸経営の基本的な部分は同じであると感じました。

田中先生の ICCO (アイシーシーオー) 式美顔はり は一般的に知られている美容鍼と大きく異なるのが刺鍼方法とその理論です。一般的な美容鍼は顔の経穴に数mm～数cm刺鍼し、骨格筋に刺激を与えてその効果を期待しますが、ICCO式は皮膚への散鍼（わずか0.2mm）をランガー割線（皮膚割線）に沿って行います。管鍼法の弾入とは明らかに異なる、その独特で細かな弾入を繰り返すことで皮膚に傷をつけ、そこから治るときの「創傷治癒機転」を利用していること、そして浅刺ではありませんが表情筋は皮筋であり、骨と皮膚に起始停止しているため、皮膚に刺激するだけで表情筋も変化するという理論に基づいています。短時間で施術が終了する点（初診は問診含めて30分）、浅いしわ、深いしわ、シミ・クスマ、肌理（きめ）を整える、肌弾力の向上、乾燥肌改善、リフトアップなどが期待できる点など、施術側にも受療側にもメリットがある施術方法と言えます。



モデルになった会員によりますと、翌日の調子を『お肌の弾力があがり子供の肌のようにもちもちとした肌触りの良いお肌になっています。化粧水の浸透や化粧のりもよくなったように感じます。毎日のスキンケアとして今後も継続して利用したくなる素晴らしい技術だと思います。』とおっしゃっていました。将来は鍼灸師だけでなく医師や医療関係者にも通じる美容鍼灸に育て、美容医療と連携していきたいと田中先生。常に鍼灸業界や患者さんの利益になることを追求され、向上心あふれるエネルギッシュな先生でした。濃密で素晴らしいご講演に感謝いたします(*^^*)